

# 平成26年度 福井県立清水特別支援学校スクールプラン

校訓、教育目標

げんきに なかよく わたしらしく  
一人一人の可能性を伸ばし、社会の中でその子らしく生きていく力を育てる。

教育方針

- 小学部・中学部・高等部の役割とその一貫性を踏まえながら教育活動の充実を図る。
- 児童生徒の充実感を大切にし、発達や実態に応じた教育内容と指導や支援の在り方を追求する。
- 一人一人のニーズに応じるために家庭や地域、教育・医療・福祉・労働等の関係諸機関との連携を深める。
- 地域との交流を積極的に進め、児童生徒が豊かな地域生活を送れるように働きかける。
- 教職員の資質と指導力の向上を目指し、研修や研究活動の充実を図る。
- 教職員の知識・技能や施設・設備を生かした地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たす。

多忙解消の取組（業務の改善）

行事にかかわる業務の見直しを行い、効率化を目指す。

人権教育の推進

児童生徒への言動について振り返る機会を設け、人権を尊重した教育の充実に取り組む。

## 重点目標

1 教育課程・学習  
指導・研修  
（共通項目）

（教育研究部・学部）

授業における環境づくりを工夫する。

2 生徒指導  
（共通項目）

（生活指導部）

児童生徒の健康で安全な学校生活を支援する。

3 進路指導  
（共通項目）

（支援部）

卒業後の生活を見通して、在学時から必要な支援を行う。

4 支援  
（独自項目）

（支援部）

清水特別支援学校ほかほか発達支援センターの業務を推進し、センター的機能の充実を図る。

5 地域との交流  
（独自項目）

（小・中・高）

交流及び共同学習において児童生徒が、地域の人と関わりながら活動できるようにする。

具体的取組

a 校内の授業研究会を通して、授業改善に取り組む。

具体的取組

a ヒヤリハットやチェック表、広報などを活用し、健康で安全な環境作りに努める。

b 災害時に備え危機管理マニュアルを確認したり、検討したりする機会を持つ。

具体的取組

a 保護者に必要な情報を提供し、卒業後の生活について共に考える機会を持つ。

具体的取組

a 参加者一人一人に応じた発達支援教室を開催するために、小集団活動の検討や在籍園との連携等を行う。

b 発達支援教室の開催を通して、本校教員の特別支援教育に関する専門性をさらに高める。

具体的取組

(小) 学校間の交流及び共同学習において、本校と交流相手校の目標に沿った授業を実施する。

(中) 生徒一人一人の実態やニーズに応じた交流及び共同学習を実施する。

(高) 生徒一人一人の実態や目標に合わせた交流及び共同学習を実施する。